



NPO法人(特定非営利活動法人) 東北CALS普及会

理事長ごあいさつ

平素は格別のご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。
当法人がいち早く取り組んでまいりましたCALS/EC(公共事業支援総合情報システム)がCIM(建築分野でのBIMを建設分野に拡大導入して、建設現場全体での生産性の向上を図る生産管理システム)へと移行をしており、これまでの「使う」段階から「活かす」段階に入ってきております。国土交通省からは道路橋関連資料の保存要領(案)、情報化施工5カ年計画と2017年度までに全都道府県で導入する目標が示されました。受・発注者の支援、CPDS認定講習会の開催、最新技術の振興、新規雇用の拡大を支援し皆様ニーズにお応えしてまいります。さらに、社会福祉支援に関しても一人でも多くの人が福祉活動に参加していただき、すべての人が助け合い、協力し合い、手を貸し、誰かの役に立つ活動を進め、地道に継続をしてよりよい社会づくりに貢献してまいります。今後とも、NPO法人東北CALS普及会を何卒よろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人東北CALS普及会 理事長 北村 達雄

事業目的

この法人は、公共事業に携わるすべての人々に対して、CALS/EC(公共事業支援総合情報システム)の普及を促進するための情報の共有を図り、技術の向上を支援する事業を行うことにより、建設分野を超えたCALS/ECの健全な発展に寄与することを目的といたします。



活動の種類

- 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 情報化社会の発展を図る活動
- 科学技術の振興を図る活動
- 経済活動の活性化を図る活動
- 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- 人材育成を図る活動



事業内容

- 国、自治体、企業においての各種講座の開催
- CIMに関する情報の収集並びに提供
- CALS/EC運用のための技術支援に関する事業
- IT知識の普及に関する事業
- その他目的を達するのに必要な事業

活動詳細

- 道路橋関連資料の保存要領(案)・道路橋維持管理資料の無料講習
- CIM導入について
- CPDS認定講習の開催
- 各種講習会の開催
- 情報化施工 TS出来形普及支援
- 道路工事完成図等作成(要領)、電子納品作成などの運用、普及活動
- 社会福祉活動・震災復興支援

「道路橋関連資料の保存要領(案)」運用に関する第二のヘルプデスクとしてご相談ください!

当普及会は、道路橋維持管理資料の電子データ作成に関する受・発注者様への無料講習会・説明会を東北各地で行っております。

防災協・連絡協議会・企業の皆さまへ...

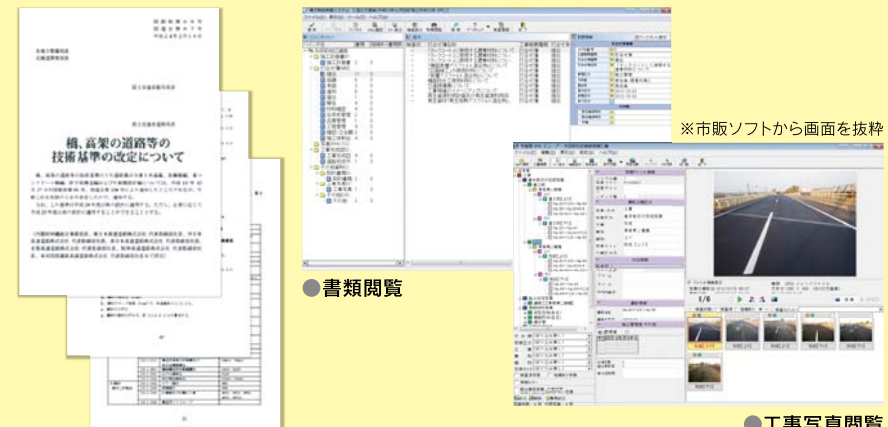
人数に関わらず無料講習会をお引受けいたします。国土交通省による「橋、高架の道路等の技術基準(道路橋示方書)の改定で、国土交通省発注工事の道路橋工事にすべてを対象に、新設・既設の橋を適切に維持管理するための関連資料の保存・記録が既定されました。お気軽にご相談・お問い合わせください。

工事完成図書(電子納品)とは別物です。

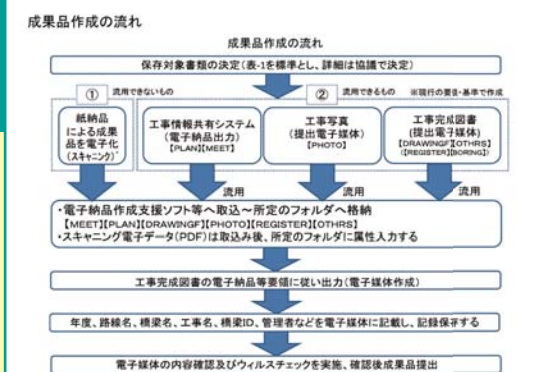
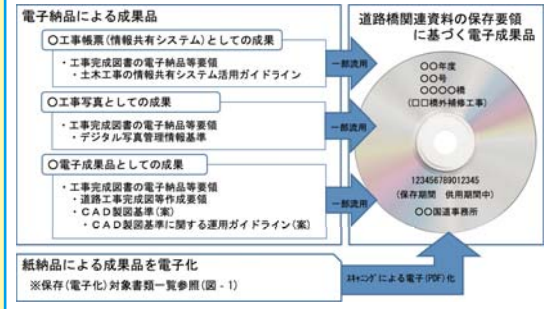
橋梁に関わる(舗装工事も含む)工事はすべてが対象となります!

「道路橋関連資料の保存要領(案)平成24年6月 国土交通省 道路局 国道・防災課」では、「国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局が新設、管理する一般国道及び高速自動車道の道路橋(橋長2m以上)に適用する」としております。

目的 橋梁の設計思想や施工品質、現在までの維持管理状態等を確実に保管し、適宜に参照することにより、橋梁の供用期間全体にわたって合理的かつ効率的な維持管理を行うことを目的としており、橋梁に関わる(舗装工事も含む)工事はすべてが対象となっております。



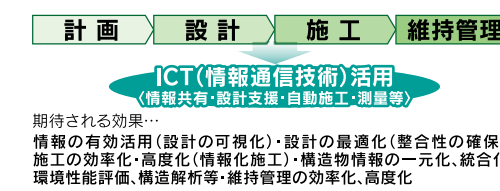
対象工事 下部工事・上部工事・床版設置工事・塗装工事・舗装工事(橋面舗装・防水・踏掛板)・橋梁付属物工事(落下物防止、遮音壁工、検査路等)



CALS/ECからCIMへの移行

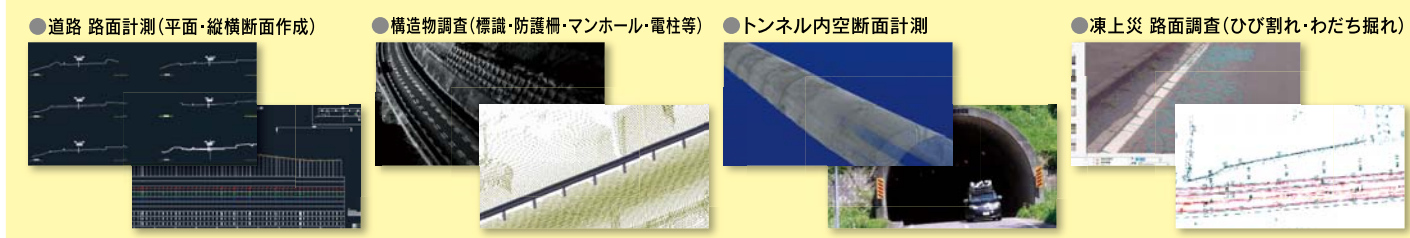
国土交通省は平成24年度よりCIMを導入及びモデル事業にて試行実施

◎BIM(Building Information Modeling)(建築分野) コンピューター上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称や仕上げ、材料・部材の仕様・性能、コスト情報等、建物の属性情報を併せもつ建築情報モデル(BIMモデル)を構築します。
◎CIM(Construction Information Modeling)(建設分野) 建築分野でのBIMを建設分野に拡大導入して、建設事業全体での生産性の向上を図ります。



MMS(モービルマッピングシステム)による3次元計測の活用について提案・支援いたします。

MMS(モービルマッピングシステム)は、GPS、3次元レーザースキャナー、カメラなどの機器を車両に搭載し、走行しながら道路面の形状や、標識、ガードレール、路面文字、マンホールなど道路周辺のあらゆる3次元位置情報を高精度で効率的に計測可能なシステムです。当法人は、この最新技術を東北地方で先駆けて採用し、道路台帳、標識台帳、道路縦横断面図や3D CAD図など、幅広い作成を支援いたしております。さらに、被災地の道路データ取得も精確に行え、すでに災害復旧にも活用しております。



着手前にお問い合わせください。情報化施工TS出来形技術を支援します。2017年度までに全都道府県での導入目標!

TS(トータルステーション)出来形管理要領と監督・検査要領を2013年度から現場に適用するとともに、土工・舗装工以外に工種でも要領を策定します。情報化施工による工事の契約変更・出来高部分払いを実現する方策を検討するとしました。2017年度に全都道府県での導入を目標としています。対象は10,000m以上の土工を含む工事となります。当普及会では原則化にあたり、受・発注者の支援をいたします。

注) 着工前の作業計画・測量機器 測量方法等が従来とは異なります。

